

ファッションロス削減を目的とした岡崎市民からの古着直接回収

8 働きがいも経済成長も	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	17 パートナシップで目標を達成しよう
--------------	------------------	---------------	---------------------

メンバー：鈴木和人（12期）
光枝英俊（12期）

現状

全国の古着リサイクルは僅か **32%**



中でも愛知県は...
▲1,898トン!

古着の回収比率

更に、コロナ渦により

2010年→2020年 古着回収量：**減**

目指すべき姿

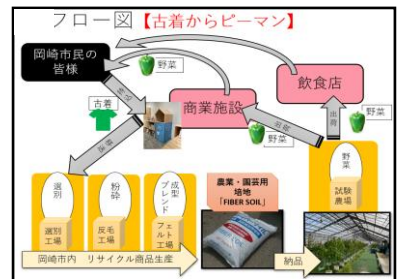
“美味しい繊維”の循環型経済圏の構築

古着をリサイクルしたポリエステル培地「FIBER SOIL」で野菜を栽培し地域に還元

古着を出す



野菜を享受



活動の内容（令和4年度）

- 7月：チームメンバー作戦会議
- 8月：グリーンフロント研究所からCO2排出削減レポートの授受
- 9月：環境デー名古屋で市民の声を収集
- 10月：愛知産業大学森先生から3度目の回収BOXデザイン提案。
- 11月：メッセナゴヤに出展。異業種から情報収集。
- 12月：回収BOXのデザイン決定。小原木材株式会社から間伐材集成材が納品。
- 1月：JINS岡崎イオンモール店とスギ薬局岡崎欠町店の導入決定。
- 2月：2店舗に設置完了。テレビ3社、ラジオ1社、新聞2社の取材報道
- 3月：2店舗の回収量確認



メッセナゴヤ出展ブース

活動の成果・反省

【活動の成果】

森林資源の循環も考えて間伐材を使用し**2台を設置**

回収BOX設置店舗	回収量
スギ薬局岡崎欠町店	130kg
JINSイオンモール店	184kg

(反省点)
・ゼロからデザインを起こしたため、完成まで8カ月を要した。
・木工手作りのため、1台あたり20~25万円もかかった。

スギ薬局岡崎欠町店
JINSイオンモール店

↑ 岡崎市のHPに回収協力店で登録

今後の展開

2023年**25カ所**に回収BOX設置

古着回収 **130トン**

年間5,200kg × 25店舗
= 130,000kg

CO2排出抑制 **184トン**

年間130,000kg × 1.42※
= 184,600kg

※古着1kg当たりのCO2排出抑制量
(グリーンフロント研究所算定値)



古着回収BOX(オリジナル製作)